

平成26年12月22日(月)



校長通信

広島市立似島小学校長 永瀬 哲治

後期前半終了・明日から冬休みです！

☆ 今日で後期前半が終了します。11月の文化祭の後も全校釣り大会、修学旅行、学園小との交流会(みかん狩り)、持久走大会、などいろいろな行事や学習を通して子どもたちは確実に成長してくれました。特に5年生の頑張りは素晴らしく、本校の最高学年としての自覚がみられ、頼もしい限りです。

そんな中 今日朝会で「冬至」の話をしました。一年の中で一番昼が短く、夜が長い日です。さらに今年は19年ぶりの「朔旦冬至(さくたんとうじ)」といって、月が新月で月明かりもない夜になるそうです。冬の寒さが増しそうです。

先週は、大雪になり冬も本番です。校庭のさくらの木々も葉が落ち、休眠しています。気温が低くなり大地がこおると水分を吸うことができません。葉も落ち養分も作れません。そのため夏の間貯めた養分を使って生きています。まるで枯れ木のように見えますが、細い枝先をよく見ると、そこには木の芽(冬芽)がついています。寒さから花や葉を守るために固い皮のようなものでおおわれています。中庭のコブシやモクレンは白い毛のような冬芽でおおわれています。冬じたくをして、春の成長に備えているのです。

1年生から4年生は、16日広島市の人権擁護委員さんが来校され、人権について学習しました。その時頂いた人権の花ヒヤシンスを水栽培していきます。見た目の変化はすぐわかりませんが、命は確実に成長しています。

明日からは、子どもたちが楽しみにしている冬休みです。しっかり子どもたちの成長をほめてあげてください。そして少し心と体を休めて、また1月から新たな挑戦をしていってほしいと思っています。どうぞよいお年をお迎えください。

学校のホームページにも掲載していきます。